

大阪市北区医師会

創立70周年記念式典並びに

祝賀会を終えて

創立70周年記念事業実行委員会 委員長

大 歳 健太郎

去る11月18日土曜日に北区医師会創立70周年記念式典並びに祝賀会を盛大に挙行することができた。ご来賓、会員および医師会事務局スタッフの総勢104名が有意義な時間をともに過ごることができました。先ずはご来賓の方々にはご多忙の折、ご参席いただき心より御礼申し上げます。またご出席いただきました多くの先生方にも厚く御礼申し上げます。

第一部の式典においては本出肇副会長により開会の辞があり、冒頭に今年で就任後4年を迎えられる波多野泉会長より式辞が述べられた。戦後の混沌とした時代から幾多の変遷を経て70年を迎える歴史につき言及されるとともに常に北区医師会の

あるべき姿勢として定款第三条「本会は、日本医師会及び大阪府医師会との連携のもと、医道の高揚、医学及び医療の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする」をこれまでもこれからも根本とすべきであるとの姿勢を表明された。その後記念受賞者の表彰式が行われた。歴代会長である末澤慶昭先生、古林光一先生が表彰され、在籍70年以上から40年以上の先生方に対しても全員のお名前を読み上げるとともにご出席の先生方に対し表彰状および記念品の授与が波多野泉会長より行われた。在籍11年を迎える濱野瑠妙事務局主任に対しても同じく表彰された。すべての受賞者に対し会場より温かい拍手が贈られた。代表して末澤慶昭前々会長より御礼の言葉を頂戴した。70周年の祝辞とともに今後も北区医師会に対し更にお力添えをいただけることのお言葉であった。

またご来賓代表として大阪府医師会長 茂松茂人先生よりご祝辞を賜った。これまでの北区医師会の隆盛を賞賛いただくとともにこれからのエールをいただいた。

その後は大原裕彦総務部長が大阪市北区医師会のこの10年についてスライドを用いて解説された。

その後は記念講演を大阪大学大学院医学系研究科「コンシリ

エンスデザイン看医工学寄附講座」特任教授 川崎和男氏より「コンシリエンスデザインによる近未来医療」につきご講演いただいた。動画や音響を巧みに取り入れた3画面を使った形式で先ずは圧巻であるとともに、医師として人として患者として深く考える遠大な内容であった。最後に東千尋副会長の辞により閉会となった。

第二部は光琳の間に移り祝賀会が施行された。弦楽四重奏が流れる華やかな雰囲気の中での開場となった。田淵義勝副会長により開会の辞が述べられ、ご来賓のご紹介の後、ご来賓代表として大淀医師会長 大西洋子先生より温かい祝辞を賜った。料理はリーガロイヤルホテルグループ統括総料理長太田昌利氏による特別料理にマスターソムリエ岡昌治氏がマリアージュされたワインが供された。事前の試食会には会長と小生とが出席し、太田シェフと岡ソムリエとも意見を交換したためかさすがリーガロイヤルホテルと感嘆できるものであった。

美味しく華やかな会の中、参加者の親睦も各所で深まり笑い声の絶えない祝賀会であった。

最後に太田祥彦専務理事より閉会の辞が述べられた。ユーモアを交えながらもこれまでの感謝とともにこれからが重要であり総力を結集し大阪市北区医師会業務を遂行しようとお言葉であった。これにより大阪市北区70周年記念式典ならびに祝賀会が和やかに厳かに閉会となった。

この度の会にあたり1年半前に創立70周年記念事業実行委員会を立ち上げ、これに関与する機会をいただいた。先ずは記念事業を実際に挙行するか。従来どおり式典と祝賀会の2部制にするか1部にまとめるか。その他詳細にわたり計7回の準備委員会を開催した。個人的にはこの様な事業を手作りで計画、準備する過程を勉強させていただき貴重な機会であったと感じている。また北区医師会の創立以来の歴史を知る良い機会になったと感謝している。十年ひと昔というが、60周年、50周年とさかのぼると当然ながら参加者や料理その他大きな変遷を感じた。今回はそれらと比較すると重点を置くところは置きつつも効率よく圧縮した会になったのではないかと感じている。最近の5年10年はそれ以前よりも物事の移り変わりが圧倒的に速くなっていると感じるのは小生だけではないと思う。80周年記念事業が行われるとすれば、大阪市北区医師会がその時代に求められる組織であり続けているよう微力ながら尽力させていただく次第である。

最後に本会開催の最大の功労者は大阪市北区医師会事務局の極めて有能な皆さんであると確信している。謝辞をもって10年後にリレーさせていただく。